

特殊な出席管理の方法について

1. 複数コマが連続する授業

(1) 処理の内容

3 4 5 限など複コマが連続する授業は、GAKUENでは全体を1コマの授業としてまとめて扱っていましたが、Campusplanでは別々のコマとして扱われます。

しかし、2コマ目以降の各コマに改めてワンタイムパスワードで出席を取るのは煩雑なため、1コマ目の出席を全体の出席として他のコマにコピーするバッチ処理を行うこととしました。

システム上では以下のようになります。

3コマ連続授業の例

| | 1コマ目 | 2コマ目 | 3コマ目 |
|----------------|---------|-----------|-----------|
| 1コマ目のはじめから出席した | 出席が自動登録 | 出席がコピーされる | 出席がコピーされる |
| 1コマ目に遅刻した | 遅刻が自動登録 | 遅刻がコピーされる | 遅刻がコピーされる |

(2) 2コマ目以降から出席した学生の出席を入れる方法

以下の2つの方法があります。

①自動で出席を入れる方法

1コマ目のパスワードを授業の最後まで延長して使用する。

・設定方法

出欠設定画面で、

- ・1コマ目の終了時刻を最後のコマの終了時刻にする
- ・1コマ目の遅刻を有効にする
- ・2コマ目以降のコマの終了時刻を1コマ目の開始より前にしておく、学生が2コマ目以降のコマに出席登録できなくなる。(これは学生側でコマを選択できるため省略可能)

この場合は、下のように1コマ目に自動で出席を入れることができ、それが2コマ目以降にもコピーされます。

| | | | |
|--------------|---------|-----------|-----------|
| 2コマ目以降から出席した | 遅刻が自動登録 | 遅刻がコピーされる | 遅刻がコピーされる |
|--------------|---------|-----------|-----------|

②あとで手動で入れる方法

翌日以降に手動で入れることができます。

当日だと、夜間バッチで欠席に上書きされてしまうので、必ず翌日以降に入れてください。

2. 同一の授業コードで複数の教室で行う授業

同じ講義コードの授業の場合、もし、当日別々の教員がそれぞれでワンタイムパスワードを発行してしまうと、一番最後に発行したパスワードのみが有効になるとのことです。そうすると、複数の教室で授業を行っている場合に、1教室でしか出欠登録できないこととなります。

それを回避する方法としては、

あらかじめ授業の前に固定のパスワードを教員同士でシェアしておく方法があります。

手順

- ①「受持講義一覧（出欠登録）」の画面で、当該授業の「出欠設定」ボタンを押す。
- ②パスワードの有無の欄で、パスワード固定を選ぶ。
- ③パスワードの欄に任意のパスワードを設定できるようになるので、設定する。
- ④一番下の登録ボタンを押す

⑤設定したパスワードをあらかじめ教員同士でシェアしておく

3. 授業開始が遅れる場合

デフォルトの設定では、講義開始時刻から10分以降に出席を登録すると遅刻と記録されます。

そのため、教員の到着が何らかのやむを得ない事情で10分以上遅れた場合、全員が遅刻と記録されてしまいます。

これを回避するには、遅刻開始時間を任意で変更することができます。

手順

- ①「受持講義一覧（出欠登録）」の画面で、当該授業の「出欠設定」ボタンを押す。
- ②遅刻開始時間（デフォルトでは10分と表示されている）を適切な時間に変更する。
- ③一番下の登録ボタンを押す

4. 同時開講の場合

複数の授業コードの授業が同時開講となっている場合は、グループ設定してあるので、どれか1つの授業コードで発行されたパスワードで、すべての学生が出席登録できます。

複数の授業コードのそれぞれで発行する必要はありません。